

令和6年度 第3学年 学級経営案

男 13人 女 6人 合計 19人 担任 谷 友柄

学 校 教 育 目 標

ふるさとを愛し、一人一人が輝く
徳・知・体の調和のとれた児童の育成

- 【なかよく】 思いやりをもち、助け合う児童
- 【かしこく】 進んで学び、よく考える児童
- 【元気よく】 たくましく、ねばり強い児童
- 【ふるさと】 郷土に学び、郷土を愛する児童

- 湯前っ子5つのすがた
- あ 明るい挨拶、大きな返事
 - い いい聞き方、目、耳、心で
 - う 美しい場所、もくもく掃除
 - え 笑顔の言葉、思いやり
 - お 落ち着いた生活、守ろう時間

学 級 目 標

- 自分や友達の良さを認め、思いやりの心を持つ児童
- 自分で考えて行動できる児童
- 何事にも粘り強く、最後まであきらめない児童

具 体 的 な 取 組

評 価

I II III

		評 価			
		I	II	III	
目指す児童像	かしこく 確かな学力	1 対話活動において教師が適切にファシリテートを行い、児童の考えが深まるようにする。			
		2 支援員と協力し、必要に応じて個別指導や補充指導を行い、一人一人の学力向上を図る。			
		3 児童の視覚的支援となるよう、ICT 機器や電子黒板を有効に活用する。			
		4 家庭と連携して家庭学習の内容と量を調整し、家庭学習の習慣化を図る。			
	なかよく 豊かな心	1 「くん」「さん」をつけて呼んだり、相手のことを考えた言葉遣いを意識させたりするなど、教室の言語環境を整える。			
		2 家庭とも連携し、善い行いや模範的な行動は積極的に取り上げ、認め褒めることで、お互いに助け合いができるようにする。			
		3 学校アンケートや児童の言動等から、気になる児童に教育相談を行うことにより、安心して生活できる教室環境を作る。			
	元気よく 健康な体	1 休み時間の外遊びや体育科の授業において、十分な運動量を確保することにより、体力の向上を図る。			
		2 安全に生活するためにふさわしい行動について、児童に日常的に考えさせるようにする。			
		3 給食指導や、学級通信での保護者への啓発を通して、「早寝・早起き・朝ごはん」の定着を図る。			
	郷土愛	1 総合的な学習の時間や社会科で、地域に関する学習を行い、湯前町の特色や良さに気づくことができるようにする。			
		2 野菜や花を育てる活動を通して、地域の産業の大切さに気付くことができるようにする。			
3 各教科等で地域の人材を有効に活用する。活用した後は感謝の気持ちを表すことで地域への愛着を深める。					
特別支援教育 人権教育	1 よつば学級担任との連携を密にし、グループ活動や様々な活動において交流する場を設けて、互いに認め合えるようにする。				
	2 支援が必要な児童の座席等を配慮し、やるべきことや活動の手順を明確に提示する。また、具体的な指示を行う。				

学期評価 (達成状況 達成← 4、3、2、1 →未達成)